



HPを
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

ぽらーのNEWS トピックス

登熟見極め適期刈り取りを 「白銀のひかり」収穫を前に指導会

J Aは8月28日、菊池正則さん（遠野市上郷町）の圃場で「白銀のひかり」の刈り取り前指導会を開き、生産者12人が参加しました。

県中部農業改良普及センターの職員は早刈り、刈り遅れへの注意を呼び掛けました。また刈り取り時期について、圃場によって登熟の進み方が異なるため、積算温度だけではなく、自身の圃場をよく観察した上で判断するよう伝えました。



生育状況を確認する生産者の皆さん

「花巻ブルー」の魅力知って 宮沢賢治童話村でPRイベント

花巻市農業振興対策本部園芸振興部会

は8月29日、宮沢賢治童話村（花巻市高松）で、花巻のJ Aオリジナルブランド「花巻ブルー」シリーズの一つである鉢花リンドウの「いわて乙女」を、来場者100人にプレゼントしました。

三重県から訪れた及川志希さんは「イベントを知らずに来たので驚いた。とてもきれいな青色なので、ベランダに飾って長く楽しみたい」と喜びました。



職員から「いわて乙女」を受け取る来場者

水田政策や鳥獣害対策学ぶ 農家組合営農部長研修会

J Aは8月6日、総合営農指導拠点セ

ンター（花巻市野田）で農家組合営農部長研修会を開き、花巻・北上・遠野の各地域の農家組合で営農部長を務める約180人が参加しました。

J A全中農政・広報部の梶浦紀次長が令和9年度以降の水田政策のポイントを説明した他、花巻市農林部農村林務課の藤原大さんが、有害獣から農地と作物を守る対策について講演しました。



水田政策の要点を解説する梶浦次長

紅ロマン出荷始まる 目揃会で意識統一

J Aは8月10日、花巻市内の2会場で

県オリジナルのブランドリンゴ「紅ロマン」の目揃会を開きました。

石鳥谷東支店（花巻市石鳥谷町）で行われた目揃会には生産者など40人が参加。J A全農いわての担当者が現物を用いて等級や着色などの選果基準を説明し、本格化する出荷に向けて意識統一を図りました。収穫の際には必ず食味を確認し、適期の作業を呼び掛けました。



現物を手に選果基準を確認する参加者たち

子ども食堂へ物品を贈呈 農産物多く集まる

J Aは8月4日、花巻ロータリークラブが主催する「ぬくまる食堂」に食料品や日用品を寄贈しました。

贈呈式では、女性部花巻地域支部の高橋美紀子支部長が贈呈品を手渡ししました。今年は660kgの米の他、別日に受付を行った野菜が多く集まりました。高橋支部長は「組合員が育てた農産物が、子どもやご家族の元気な毎日に繋がってほしい」と話しました。



同クラブの鹿討康弘会長（右）と高橋支部長

地域との繋がりを大切に 各支店でふれあいイベントを開催

J Aでは、組合員や地域住民との交流

を通じて親睦を深めようと、各支店でふれあいイベントを開催しています。

湯本支店（花巻市湯本）では8月1日に夏まつりを行い、約320人が来場しました。職員や組合員組織、地元企業による屋台やもちまき、抽選会、恒例の農家組合対抗カラオケ大会を実施し、力のこもった応援や歓声で会場は大いに盛り上がりしました。



カラオケ大会で歌や踊りを披露する出場者の皆さん

新規栽培に向けた相談会 園芸やるベセミナー

J Aと花巻・北上の両市、県中部農業

改良普及センターは8月28日、園芸品目の新規栽培を検討する方に向けた相談会「園芸やるベセミナー」を開き、管内から8人の希望者が参加しました。

参加者たちは、圃場見学や個別相談会を通じて栽培への理解を深めました。北上市から参加した松田美穂さんは「現場の専門的な知識が参考になった。就農の準備を進めたい」と意欲を見せました。



栽培の現場を見学する参加者たち

小麦播種に向けて 栽培管理と記録簿電子化について説明

J Aと県中部農業改良普及センターは

8月28日、総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で令和9年度小麦の播種前指導会を開き、播種に向けた圃場の排水対策と除草の徹底を呼び掛けました。

説明会では、（株）NTTデータの担当者が栽培管理記録簿を電子化するアプリについて説明しました。栽培履歴や農薬の使用管理などが行えるため、営農の効率化に繋がるとして利用を促しました。



アプリの使用法を確認する参加者たち